

【 成人看護学 】

授業科目	成人看護学概論		対象学年・時期	1年次・後期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	看護師 ★		講義時間	29
			テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 成人期における対象を理解する。 2. 成人看護の機能・役割について学ぶ。 3. 成人期における保健活動の意義を理解し、健康の保持増進を図る援助を学ぶ。 4. 健康障害時の健康レベルに応じた看護方法を学ぶ。			
回	主 題	学習内容及び方法		授業方法
1・2回	1. 成人、成年、大人とは	1) 成人各期の特徴: 青年期・壮年期・向老期 2) 身体的・心理社会的な特徴、発達段階・発達課題		講義・演習
3・4回	2. 成人保健の動向と健康教育	1) 生活状況の特徴、生と死の動向、受療状況 2) 家族形態と機能、社会状況の変化		講義・演習
5回	3. 生活習慣病の予防と労働者の保健問題と対策	1) 生活習慣病の発症要因と発生状況		講義・演習
6回		2) 就労条件、環境と病気 3) 生活ストレスとストレス対処方法、職業性疾患の発生状況と予防		講義・演習
7回	2. 成人保健の動向と健康教育	1) 成人学習理論(アンドラゴジー) 行動変容ステージモデル(自己効力感・内発的動機付け)、エンパワメント		講義・演習
8回	2. 成人保健の動向と健康教育 4. 健康レベルからみた成人看護の特徴—慢性期看護—	1) ヘルスプロモーション、経過別看護とは 2) 慢性疾患の変遷・特徴・経過プロセス、セルフケア、ストレスコーピング、社会的支援		講義・演習
9回	5. 健康レベルからみた成人看護の特徴—急性期看護—	1) 急性・重症患者の特徴、家族の特徴 2) 緊急性と重症度のアセスメント、危機的状態への精神的支援、意志決定支援		講義
10回	6. 健康レベルからみた成人看護の特徴—周手術期看護—	1) 早期回復促進への看護 2) ボディイメージの変容への援助		講義・演習
11回	7. 健康レベルからみた成人看護の特徴—リハビリテーション看護—	1) リハビリテーション、国際生活機能分類(ICF)、心理的葛藤、社会参加		講義
12回	8. 健康レベルからみた成人看護の特徴—がん看護—	1) がん手術療法における看護、がん化学療法における看護、がん放射線療法における看護、造血幹細胞移植の看護、緩和ケア		講義
13・14回	9. 健康レベルからみた成人看護の特徴—終末期看護—	1) 全人的苦痛、死の受容過程、疼痛アセスメント、家族ケア		講義・演習
15回	まとめ	1) 成人看護の機能・役割		演習
評価方法	筆記試験 演習課題 演習参加状況			
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論 成人看護学①(医学書院)			
参考文献	国民衛生の動向(厚生労働統計協会)			

授業科目	運動機能に障害のある成人の看護 (運動器)		対象学年・時期	2年次・前期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	看護師		講義時間	14
			テスト時間	試験別
学習目標	1. 運動機能に障害を持つ成人及びその家族の特徴と基本的看護の方法を理解する。			
回数	主題	学習内容及び方法		授業方法
1回	1.機能障害のアセスメント	1) 姿勢機能障害の原因と程度 2) 移動機能障害の原因と程度 3) 作業機能障害の原因と程度 4) 関節可動域障害・筋力低下の原因と程度		講義
	2.症状とその看護	1) 姿勢機能障害による症状とその看護 2) 移動機能障害による症状とその看護 3) 作業機能障害による症状とその看護 4) 疼痛(関節痛・筋肉痛・腰痛・坐骨神経痛)とその看護		
2回	3.検査を受ける患者の看護 4.治療を受ける患者の看護 5.機能障害をもちながら生活する人の看護	1) 牽引法を受ける患者の看護 2) 人工関節置換術を受ける患者の看護 3) ポジショニングを受ける患者の看護		講義
3回		1) 椎間板ヘルニアの病期に応じた援助		講義
4回		1) 脊椎損傷患者の援助 2) 脊髄造影・椎間板造影を受ける患者の看護		講義
5回		1) 四肢切断後の患者の援助(ソフトドレッシング法の実施)		講義・演習
6回		1) 膝関節鏡検査・膝関節液検査を受ける患者の看護 2) 関節リウマチの病期に応じた援助 3) ギプス固定を受ける患者の看護		講義
7回		1) 筋生検を受ける患者の看護 2) 重症筋無力症患者の援助 3) ギランバレー症候群をもつ患者の援助 4) 筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の援助		講義
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 運動器 成人看護学⑩(医学書院) 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護(医学書院)			
参考文献	系統看護学講座 専門Ⅱ 脳神経 成人看護学⑦(医学書院)			

授業科目	運動機能に障害のある成人の看護 (脳・神経)		対象学年・時期	2年次・前期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	看護師		講義時間	15
			テスト時間	1 (45分)
学習目標	1. 脳神経系に障害を持つ成人及びその家族の特徴と基本的看護の方法を理解する。			
回数	主題	学習内容及び方法		授業方法
1回～ 4回	1.機能障害の アセスメント 2.症状とその看護	1) 生命維持活動調節機能障害の原因と程度 2) 運動・感覚機能障害の原因と程度 3) 言語機能障害の原因と程度 4) 高次脳機能障害の原因と程度 5) 脳・神経機能障害がもたらす生命・生活への影響 6) 感覚機能障害がもたらす生命・生活への影響 1) 生命維持活動調節機能障害の症状 2) 運動・感覚機能障害の症状 3) 言語機能障害の症状 4) 高次脳機能障害の症状		講義
5回	3.検査を受ける患者の看護 4.治療を受ける患者の看護 5.機能障害をもちながら生活する人の看護	1) 開頭術を受ける患者の看護 2) 脳室ドレナージ(術)中の看護 3) 血管内治療(血栓溶解療法・動脈瘤塞栓術)を受ける患者の援助 4) 脳室-腹腔(V-P)シャント術を受ける患者の看護		講義
6回		1) 脳血管障害の病期に応じた援助(クモ膜下出血) 2) 低体温療法中の患者の援助		講義
7回		1) 脳血管造影を受ける患者の看護 2) 脳波検査を受ける患者の看護 3) 脳腫瘍患者の病期に応じた援助 4) 脳梗塞患者の病期に応じた援助 5) 小脳疾患患者の病期に応じた援助 6) 頭部外傷患者の援助		講義
8回	5.機能障害をもちながら生活する人の看護	1) 脳死状態にある人の援助 2) まとめ		講義
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 脳・神経 成人看護学⑦(医学書院)			
参考文献	系統看護学講座 専門Ⅱ 眼 成人看護学⑬(医学書院)			
	系統看護学講座 専門Ⅱ 耳鼻咽喉 成人看護学⑭(医学書院)			
	系統看護学講座 専門Ⅱ 歯・口腔 成人看護学⑮(医学書院)			

授業科目	生命維持機能に障害のある成人の看護 (がん看護)		対象学年・時期	2年次・前期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	看護師		講義時間	8
			テスト時間	試験別
学習目標	1. がんに罹患している成人及びその家族の特徴と基本的看護の方法を理解する。			
回数	主題	学習内容及び方法		授業方法
1回	1. 手術療法の看護	1) 手術療法の理解を促す援助 2) 手術の意思決定への援助 3) 不安のアセスメントと援助		講義
	2. 放射線療法の看護	1) 放射線療法の理解を促す援助 2) 心身状態のアセスメント 3) 放射線照射時の観察と援助 4) 有害事象に対する症状マネジメント 5) 晩期合併症のアセスメントと援助 6) 被爆防御		
2回	3. 化学療法の看護	1) 化学療法の理解を促す援助 2) 心身状態のアセスメント 3) 抗癌薬投与時の観察と援助 4) 有害事象に対する症状のマネジメント 5) 長期合併症のアセスメントと援助 6) 外来化学療法を受ける患者への援助		講義
3回	4. 造血幹細胞移植の看護	1) 造血幹細胞移植の理解を促す援助 2) 心身状態のアセスメント 3) ドナーの健康状態のアセスメントと援助 4) 血液悪性疾患（悪性リンパ腫、白血病）の病期に応じた援助 5) 移植病室在室中の患者の援助 6) 移植片対宿主病（GVHD）の観察と援助		講義
4回	5. 緩和ケア	1) 患者ニーズのアセスメント 2) 症状マネジメント 3) 全人的ケアと予期的悲嘆に対するケア 4) 家族ケア 5) 緩和ケアチームアプローチ		講義
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 別巻 がん看護（医学書院） 系統看護学講座 専門Ⅱ 血液・造血器 成人看護学④（医学書院）			
参考文献	系統看護学講座 専門Ⅰ 臨床看護学総論 基礎看護学④（医学書院） 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学総論 成人看護学①（医学書院）			

授業科目	生命維持機能に障害のある成人の看護 (呼吸器)		対象学年・時期	2年次・前期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	診療看護師		講義時間	10
			テスト時間	試験別
学習目標	1. 呼吸器系に障害を持つ成人及びその家族の特徴と基本的看護の方法を理解する。			
回数	主題	学習内容及び方法		授業方法
1回	1. 呼吸器の構造と機能	1) 呼吸器の構造 2) 呼吸器の機能		講義
	2. 機能障害のアセスメント	1) 酸素化障害の原因と程度 2) 換気障害の原因と程度 3) 酸塩基平衡調節機能障害の原因と程度 4) 呼吸運動障害の原因の関連因子 5) 呼吸機能障害がもたらす生活への影響		
2回	3. 呼吸機能障害がもたらす影響	1) 身体的な問題への援助 2) 心理的・社会的な問題への援助		講義
	4. 症状とその看護	1) 酸素化障害の症状 2) 換気障害の症状 (体位ドレナージ) 3) 呼吸運動障害の症状 4) 酸塩基平衡調節機能障害による症状		
3回	5. 検査を受ける患者の看護	1) 気管支鏡検査 (検査前・検査中・検査後の看護) 2) 肺生検 (検査前・検査中・検査後の看護) 3) 呼吸機能検査 (検査前・検査後の看護) 4) 動脈血液ガス分析 (検査前・検査後の看護)		講義
4回	6. 治療を受ける患者の看護	1) 肺切除術 (患者の特徴、手術前・手術後 (胸腔内低圧持続吸引)・回復期) 2) 酸素療法 (目的・種類・看護) 3) 侵襲的陽圧換気 (IPPV・NPPV、人工呼吸器の基礎知識・装着中の看護) 4) 薬物による治療 (抗アレルギー薬・気管支拡張薬・副腎皮質ステロイド、薬物療法における看護)		講義
5回	7. 機能障害をもちながら生活する人の看護	1) 肺癌患者の病期に応じた援助 (化学療法、放射線療法) 2) 肺炎の病期に応じた援助 3) 慢性閉塞性肺疾患の病期に応じた援助 (急性増悪時の看護、安定期の看護、看取りに向けての看護) 4) 気管支喘息の病期に応じた援助 (急性喘息発作時の看護、慢性安定期の看護) 5) 結核患者の看護 (急性期、慢性期)		講義
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 呼吸器 成人看護学② (医学書院)			
参考文献				

授業科目	生命維持機能に障害のある成人の看護 (循環器)		対象学年・時期	2年次・前期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	看護師		講義時間	11
			テスト時間	1 (45分)
学習目標	1. 循環器系に障害を持つ成人及びその家族の特徴と基本的看護の方法を理解する。			
回数	主題	学習内容及び方法		授業方法
1回	1. 心臓の構造と機能	1) 心臓の構造 2) 血管の構造と機能 3) 循環の調節		講義
	2. 機能障害のアセスメント	1) ポンプ機能障害の原因と程度 2) 輸送還流障害の原因と程度 3) 刺激伝導障害の原因と程度 4) 循環機能障害がもたらす生活への影響		講義
2回	3. 症状とその看護	1) ポンプ機能障害の症状 2) 輸送還流障害の症状 3) 刺激伝導障害の症状		講義
3回	4. 検査を受ける患者の看護	1) 心臓カテーテル検査 2) 心血管造影検査 3) 心電図 (12誘導心電図、ベッドサイドモニター) 4) 心エコー検査		講義
4回	5. 治療を受ける患者の看護	1) 経皮的冠動脈形成術 (手術前・手術後の看護) 2) 冠動脈バイパス術 (手術前・手術後の看護) 3) 弁置換術 (手術前・手術後・回復期の看護) 4) 大動脈バルーンパンピング (実施中の看護) 5) ペースメーカー植込み (挿入後の看護) 6) 植込み型除細動器 (挿入後の看護) 7) 血栓溶解療法・血栓除去術 (手術後の看護)		講義
5回	6. 機能障害をもちながら生活する人の看護	1) 心不全患者の病期に応じた援助 (服薬管理とリスク) 2) 虚血性心疾患患者の病期に応じた援助 3) 不整脈のある患者への援助 4) 下肢動脈閉塞症の患者への援助		講義
6回	7. まとめ	1) 試験対策		講義
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 循環器 成人看護学③ (医学書院)			
参考文献				

授業科目	消化機能、代謝機能に障害のある成人の看護	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	看護師	講義時間	15
		テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 消化器系に障害を持つ成人及びその家族の特徴と基本的看護の方法を理解する。 2. 代謝系に障害を持つ成人及びその家族の特徴と基本的看護の方法を理解する。 3. 内分泌系に障害を持つ成人及びその家族の特徴と基本的看護の方法を理解する。		
回数	主題	学習内容及び方法	授業方法
1回	1.医療の動向 2.看護の役割 3.検査を受ける患者の看護	1) 消化器看護を学ぶにあたっての医療の動向 2) 看護の役割 (身体的・心理的・社会的な問題への援助、家族への援助) 3) 造影検査を受ける患者の看護 (経皮経肝胆道造影、胆道胆嚢造影、内視鏡的逆行性胆管膵管造影上部消化管造影、下部消化管造影) 4) 内視鏡検査を受ける患者の看護 (上部消化管内視鏡検査、下部消化管内視鏡検査、腹腔鏡検査) 5) 肝シンチグラフィを受ける患者の看護 6) 腹部超音波検査を受ける患者の看護	講義
2回	4.食道の構造と機能 5.食道疾患の理解・患者の看護	1) 食道の構造と機能 2) 食道がん患者の看護 (手術前・手術後(食道切除後の生活の援助)) 3) 胃食道逆流症患者の看護	講義
3回	6.胃・十二指腸の構造と機能 7.胃・十二指腸疾患患者の看護	1) 胃・十二指腸の構造と機能 2) 胃・十二指腸潰瘍患者の看護 3) 胃がん患者の看護 (手術前・手術中・手術後、胃切除後の生活の援助) 4) 消化管手術後ドレーン挿入 (閉鎖式・開放式ドレーン)	講義
4回	8.肝臓・胆嚢の構造と機能 9.肝臓・胆嚢疾患患者の看護	1) 肝臓の構造と機能 2) 胆嚢の構造と機能 3) 肝臓がん患者の看護(手術前・手術後) 4) 胆嚢炎患者の看護(胆道・胆嚢ドレーン)	講義
5回	10.膵臓の構造と機能 11.膵臓疾患患者の看護 12.化学療法・放射線療法を受ける患者の看護	1) 膵臓の構造と機能 2) 急性膵炎患者の看護 3) 膵臓の手術を受ける患者の看護(手術前・手術後) 4) 化学療法を受ける患者の看護 (施行中の副作用、患者のアドヒアランスを高める援助) 5) 放射線療法を受ける患者の看護	講義

		(心理的援助、有害事象に対する看護)	
6回	13.小腸・大腸の構造と機能 14 直腸・肛門の構造と機能 15.腸・腹膜疾患患者の看護	1) 小腸・大腸の構造と機能 2) 直腸・肛門の構造と機能 3) 潰瘍性大腸炎患者の看護 (再燃時・回復期) 4) クローン病患者の看護 (活動期・寛解期・寛解維持期) 5) 急性腹膜炎患者の看護 (手術前・手術後)	講義
7回	16.腸・腹膜疾患患者の看護	1) ヘルニアで手術を受ける患者の看護 2) イレウス (腸閉塞) で手術を受ける患者の看護 3) 大腸がん患者の看護 (手術前・手術後・回復期、大腸切除後の生活の援助、人工肛門造設後の生活の援助)	講義
8回	17.術後ベッドの作成 18.まとめ	1) 消化器疾患患者の術後ベッドの作成 (手順・根拠・留意点) 2) 術後の環境調整	演習 (実習室) 講義
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 消化器 成人看護学⑤ (医学書院) 系統看護学講座 専門Ⅱ 内分泌・代謝 成人看護学⑥ (医学書院)		
参考文献			

授業科目	消化機能、代謝機能に障害のある成人の看護	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	看護師	講義時間	14
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 消化器系に障害を持つ成人及びその家族の特徴と基本的看護の方法を理解する。 2. 代謝系に障害を持つ成人及びその家族の特徴と基本的看護の方法を理解する。 3. 内分泌系に障害を持つ成人及びその家族の特徴と基本的看護の方法を理解する。		
回数	主題	学習内容及び方法	授業方法
1回	1.肝機能障害のアセスメント 2. 検査を受ける患者の看護 3.症状とその看護	1) 肝機能障害の原因と程度 2) 肝生検を受ける患者の看護 3) 肝機能障害による症状の把握と援助 (肝性脳症、食道静脈瘤、浮腫・腹水、倦怠感、黄疸、出血傾向)	講義
2回	4. 症状とその看護 5.肝臓疾患患者の看護	1) 肝機能障害による症状の把握と援助 (吐血・下血、嘔気・嘔吐、腹痛) 2) 肝炎・肝硬変患者の看護 (病期に応じた援助) 3) 肝癌患者の看護 (病期に応じた援助)	講義
3回	6.代謝機能のアセスメント 7.症状とその看護	1) 代謝機能障害の原因と程度 2) 代謝機能障害による症状の把握と援助 (肥満、るい瘦、痛風発作)	講義
4・5回	8.内部環境調整機能障害のアセスメント 9.検査を受ける患者の看護 10.症状とその看護 11.治療を受ける患者の看護 12.機能障害を持ちながら生活する人の看護	1) ①血糖調節機能障害の原因と程度②内部環境調節機能障害がもたらす生命・生活への影響 2) ①糖負荷試験 (OGTT) ②血糖自己測定 (SMBG) 3) 血糖調整機能障害による症状の把握と援助 4) ①インスリン補充療法②インクレチン関連薬による治療③糖尿病治療薬による治療④食事・運動療法 5) ① I 型糖尿病の病期に応じた援助② II 型糖尿病の病期に応じた援助	講義
6・7回	13.機能障害のアセスメント 14.検査を受ける患者の看護 15.症状とその看護 16.治療を受ける患者の看護 17.機能障害を持ちながら生活する人の看護	1) ①甲状腺機能障害の原因と程度②副腎機能障害の原因と程度③下垂体機能障害の原因と程度④内分泌機能障害がもたらす生活への影響 2) ①ホルモン負荷試験②ホルモン血中・尿中濃度測定検査 3) ①甲状腺機能障害による症状の把握と援助 ②下垂体機能障害による症状の把握と援助 4) ①甲状腺ホルモン療法②甲状腺切除術 5) ①甲状腺機能障害をもつ患者の援助②甲状腺癌の病期に応じた援助	講義

評価方法	筆記試験
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 消化器 成人看護学⑤ (医学書院) 系統看護学講座 専門Ⅱ 内分泌・代謝 成人看護学⑥ (医学書院)
参考文献	

授業科目	排泄・生殖・免疫機能障害のある成人の看護 (腎・泌尿器 ※男性生殖器を含む)	対象学年・時期	2年次・前期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	看護師	講義時間	11
		テスト時間	1 (45分)
学習目標	1. 腎・泌尿器系に障害のある成人及びその家族の特徴と基本的看護を理解する。		
回	主 題	学習内容及び方法	授業方法
1回	I. 排泄機能障害のある患者の看護 1. 機能障害のアセスメント	1) 蓄尿・排尿機能障害の原因と程度の把握 2) 体液量調節機能障害の原因と程度 3) 電解質調節機能障害の原因と程度 4) 酸塩基平衡調節機能障害の原因と程度 5) 排泄機能障害がもたらす生命・生活への影響の把握	講義
2回	2. 症状とその看護	1) 蓄尿・排尿機能障害による症状の把握と援助 2) 体液量調節機能障害による症状 3) 電解質調節機能障害による症状 4) 酸塩基平衡調節機能障害による症状	講義
3回	3. 検査を受ける患者の看護	1) 尿流動態検査 2) 膀胱鏡検査 3) 腎生検 4) 静脈性尿路造影を受ける患者の援助 5) 腎機能検査 (PSP 試験、フィッシュバーグ濃縮試験、糸球体濾過量)	講義
4回	4. 治療を受ける患者の看護	1) 膀胱切除術 2) 前立腺切除術 3) ホルモン療法 4) 透析療法 (維持・腹膜・急性期持続血液濾過 5) 腎移植	講義
5回	5. 機能障害をもちながら生活する人の看護	1) 排尿機能障害 2) 尿管ストーマ造設後の病期に応じた援助 3) 急性腎不全の病期に応じた援助 4) 慢性腎不全の病期に応じた援助 5) 慢性腎臓病の病期に応じた援助 6) ネフローゼ症候群の病期に応じた援助 7) 腎移植後の患者への援助	講義
6回	II. 性・生殖機能障害のある患者の看護	1. 機能障害のアセスメント 1) 不妊の原因と程度 2. 症状とその看護 1) 性感染症 (STD) 3. 機能障害をもちながら生活する人の看護 1) 性機能障害	講義
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 腎・泌尿器 成人看護学⑧ (医学書院)		
参考文献	系統看護学講座 専門Ⅱ 内分泌・代謝 成人看護学⑥ (医学書院) 系統看護学講座 専門Ⅱ 女性生殖器 成人看護学⑨ (医学書院)		

授業科目	排泄・生殖・免疫機能障害のある成人の看護 (女性生殖器)	対象学年・時期	2年次・前期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	助産師	講義時間	8
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 女性生殖機能に障害を持つ成人及びその家族の特徴と基本的看護の方法を理解する。		
回	主 題	学習内容及び方法	授業方法
1回	1. 機能障害のアセスメント	1) 性交障害の原因と程度 2) 不妊の原因と程度 3) 性感染症の原因と程度 4) 性・生殖機能障害がもたらす生命・生活への影響	講義
	2. 症状とその看護	1) 性交障害症状 2) 性感染症 (STD)	
	3. 検査を受ける患者の看護	1) 女性生殖器の触診 2) 基礎体温測定法 3) 頸管粘液検査 4) 卵管疎通性検査 5) 乳房腫瘍穿刺吸引細胞診 6) 腹部超音波検査 7) 乳房超音波検査 8) マンモグラフィ	
2・3回	4. 治療を受ける患者の看護	1) 乳腺・子宮・卵巣腫瘍の程度の把握	講義
		1) 不妊治療 2) 性感染症治療	
		1) 乳房切除術 2) 女性生殖器切除術	
		1) 乳癌内分泌療法 2) 化学療法・放射線療法を受ける患者の看護	
4回	5. 機能障害をもちながら生活する人の看護	1) 性機能障害がある人の看護 2) ホルモン欠落症状がある人の看護 3) 乳癌術後慢性リンパ浮腫がある人の看護 4) 更年期障害がある人の看護	講義
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 女性生殖器 成人看護学⑨ (医学書院)		
参考文献			

授業科目	排泄・生殖・免疫機能障害のある成人の看護 (感染症・アレルギー・膠原病)	対象学年・時期	2年次・前期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	看護師	講義時間	10
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 感染症・アレルギー・膠原病を持つ成人及びその家族の特徴と基本的看護の方法を理解する。		
回	主 題	学習内容及び方法	授業方法
1回	1. 機能障害のアセスメント	1) 体温調節機能障害の原因と程度 2) 皮膚粘膜障害の原因と程度 3) 免疫機能障害の原因と程度 4) 身体防御機能障害がもたらす生命・生活への影響	講義
2回	2. 症状とその看護	1) 体温調節機能障害による症状 2) 皮膚粘膜障害による症状(発疹、びらん、潰瘍) 3) 免疫機能障害による症状 (易感染、出血傾向、アレルギー反応)	講義
3回	3. 検査を受ける患者の看護	1) 生検(粘膜、皮膚、筋) 2) スキンテスト・パッチテスト	講義・演習
4回	4. 治療を受ける患者の看護	1) 抗HIV療法 2) 減感作療法 3) 免疫抑制薬、ステロイド療法	講義
5回	5. 機能障害をもちながら生活する人の看護	1) 低体温症の予防と援助 2) ヒト免疫不全ウイルス(HIV)の病期に応じた援助 3) アレルギー疾患をもつ人の援助 4) 自己免疫疾患をもつ人の援助	講義
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 膠原病・アレルギー・感染症 成人看護学⑪(医学書院) 系統看護学講座 専門Ⅱ 皮膚 成人看護学⑫(医学書院)		
参考文献			

授業科目	成人看護学演習		対象学年・時期	2年次・前期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	看護師 ★		講義時間	30
			テスト時間	課題評価
学習目標	1. 看護過程の展開を通して、成人期にある対象の特徴が理解できる。 2. 事例を通して、状態に合わせた看護過程の展開ができる。 3. 成人期にある対象に適した指導技術の方法が理解できる。 4. 成人期にある対象に合わせた看護技術が実施できる。			
回数	主題	学習内容及び方法		授業方法
1回	1. 成人期にある対象者の特徴の理解	1) ・成人期の発達段階 ・消化器疾患（胃がん） ・急性期（周手術期）の看護		講義 演習
2回				
3回 ～ 6回	2. 成人期にある対象者の発達段階や健康レベルに応じた看護過程の展開	1) 【事例】情報整理と分析		講義 演習
7・8回		1) 【事例】看護問題の明確化（看護診断）		演習 (グループワーク)
9・10回		1) 【事例】看護計画立案		演習
11・12回	3. 成人期にある対象者の発達段階や健康レベルに応じた看護の実際	1) 【事例】 ・看護計画の発表 ・成人期にある対象に合わせた看護技術、学習支援		演習 発表 (ロールプレイ)
13回		1) 【事例】看護記録（SOAP） 2) 【事例】看護計画の評価		演習
14・15回	4. 成人期にある対象に必要な看護技術	1) 手術直後の観察 2) 早期離床の援助（膀胱内留置カテーテルの挿入・固定・管理 含）		演習（実習室）
評価方法	演習課題、 演習参加状況			
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論 成人看護学①（医学書院） 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論（医学書院） 高齢者と成人の周手術期看護 外来/病棟における術前看護（医歯薬出版株式会社） 高齢者と成人の周手術期看護 術中/術後の生体反応と急性期看護（医歯薬出版株式会社） 看護診断ハンドブック（医学書院） ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく 実践看護アセスメント（ヌーヴェルヒロカワ）			
参考文献	系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学②（医学書院） 根拠と事故防止から見た 基礎・臨床看護技術（医学書院）			